

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	住友不動産株式会社 総務部（鑑定担当）
千代田(都) 5 - 10	東京都	区部第 1	氏名	不動産鑑定士 山本 耕平 印

鑑定評価額	1,110,000,000 円	1 m ² 当たりの価格	6,720,000 円 / m ²
-------	-----------------	-------------------------	------------------------------

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 3 年 7 月 1 日	(4)鑑定評価日	令和 3 年 7 月 2 日	(6)路線価	[令和 3 年1月]	5,470,000 円 / m ²
(2)実地調査日	令和 3 年 6 月 25 日	(5)価格の種類	正常価格	路線価又は倍率	倍率種別	倍
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		千代田区外神田三丁目 1 0 番 1 外 外神田 3 - 1 4 - 9				地積 (㎡)	165 ()	法令上の規制等			
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給 処理施設状況	主要な交通施設との 接近の状況		商業 (80,700) 防火			
	1 : 1	店舗兼事務所 S R C 8F 2B	中高層の店舗、事務所ビルが建ち並ぶ商業地域		東36 m 都道	水道、 ガス、 下水	秋葉原390 m		(その他) 地区計画等 駐車場整備地区 (100,700)			
(2) 近隣 地域	範囲	東 0 m、西 15 m、南 25 m、北 35 m				標準的使用	高層店舗兼事務所地					
	標準的画地の形状等		間口 約 12 m、奥行 約 15 m、規模 180 ㎡程度、形状 ほぼ正方形									
	地域的特性	特記事項 秋葉原電気街や北寄りに位置し、中央通り沿いの繁華性が比較的高い地域		街路 3 6 m 都道		交通施設	秋葉原駅北西方390 m		法令 規制	商業 (100,700) 防火 地区計画等 駐車場整備地区		
	地域要因の将来予測	家電量販店や電子機器類、趣味嗜好品店舗等が集積する特有の文化発信地として発展してきているが、先行き不透明な社会経済情勢を背景として、地価はやや不安定な状況になるものと予想される。										
(3)最有効使用の判定		高層店舗兼事務所地					(4)対象基準地の 個別的要因	ない				
(5)鑑定評価の手法 の適用		取引事例比較法	比準価格 7,150,000 円 / ㎡									
		収益還元法	収益価格 6,150,000 円 / ㎡									
		原価法	積算価格 / 円 / ㎡									
		開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡									
(6)市場の特性		同一需給圏は、千代田区、中央区の中高層店舗兼事務所ビルが建ち並ぶ繁華性の高い商業地域と把握される。近隣地域は、秋葉原地区の幹線道路沿いに中高層の家電量販店や電子機器類、趣味嗜好品店舗等が集積する商業地域である。需要者の中心は、対象不動産の収益性に着目する不動産会社や事業会社、投資法人等が想定される。市場で中心となる価格帯は、規模、画地条件等により大きく異なるが、土地価格で総額 1 0 億円程度とみられる。										
(7)試算価格の調整・ 検証及び鑑定評価 額の決定の理由		比準価格は、比較可能な複数の取引事例から求められており、実勢を反映した価格と認められる。収益価格は、直接法により求められており、賃料水準も標準的なものであり、対象地の収益性を反映する。比較的高度利用可能な商業地域に存し、市場参加者は地域の価格水準と投資採算性の両面を検討して意思決定するものと思路される。本件では、比準価格と収益価格とを関連づけ、指定基準地との比較検討を踏まえ、鑑定評価額を上記の通り決定した。										
(8) 公規価 示準格 価と 格し をた	□代表標準地 ■標準地 標準地番号 千代田 5 - 37		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の規準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標 街路 0.0 準 交通 0.0 化 環境 0.0 補 画地 +6.9 正 行政 0.0 その他 0.0	地 街路 -4.0 域 交通 +2.0 要 環境 -27.0 因 行政 +4.0 その他 0.0		
	公示価格 5,420,000 円 / ㎡		[99.1] 100	100 [106.9]	100 [74.3]	[100.0] 100	6,760,000					
(9) 指か 定ら 基の 準検 地討	指定基準地番号 千代田(都) 5 - 25		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の比準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標 街路 0.0 準 交通 0.0 化 環境 0.0 補 画地 +6.9 正 行政 0.0 その他 0.0	地 街路 0.0 域 交通 -1.0 要 環境 -24.0 因 行政 +4.0 その他 0.0		
	前年指定基準地の価格 5,650,000 円 / ㎡		[99.1] 100	100 [106.9]	100 [78.2]	[100.0] 100	6,700,000					
(10) 対年ら 象標の 基準検 準価討 地格の 等前か	- 1 対象基準地の検討 ■継続 □新規 前年標準価格 6,850,000 円 / ㎡			価 変 格 動 形 状 成 況 要 因 の	〈 一般的 要 因 〉	新型コロナウイルス感染症拡大により、社会生活や経済活動の全般に渡って様々な影響が出ている。						
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討 □代表標準地 □標準地 標準地番号 - 公示価格 円 / ㎡				〈 地 域 要 因 〉	物販・飲食店舗の賃料負担力の低下等に伴い、地価はやや弱含んでいく可能性がある。						
	変動率 年間 -1.9 % 半年間 %				〈 個別的 要 因 〉	個別的要因に特に変化は認められない。						